

# 図書館だより

令和4年2月28日発行

第8号

清水高校図書館

## 3年生とお別れ

3月はお別れの時期、卒業の時期ですね。あっという間の1年でした。みなさんはこの1年をどのように過ごしましたか。部活や勉強に専念したり、楽しい思い出をひたすら作ったり、自分を極めたり……どんな1年であっても残りの1か月も良い思い出を作れると良いですね。3年生は高校生活最後の1年、良い思い出を作れましたか。1・2年生は3年生とどのような思い出を作ることが出来ましたか。笑い合った思い出や励ましてくれた思い出、叱られた思い出……たくさんあったと思います。3年生のみなさんの100通りの人生が幸せで充実している人生であることを願っています。

現在、図書室前の廊下や図書室入り口付近など合計3か所に図書館の3年生が作ったものを展示しています。折り紙で作った華やかな装飾、産業の授業で卒業制作として作った本棚があります。図書館の活動を熱心に行った先輩方の作品です。廊下を通るときや、図書室を利用する際にぜひ見て行ってください。(三好)



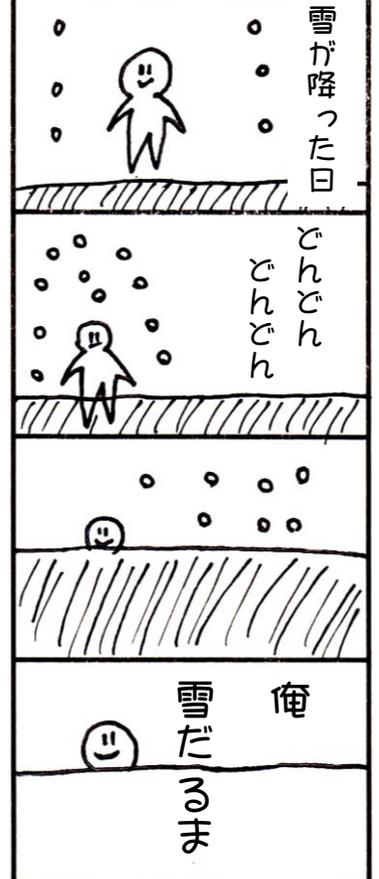
## 1年の終わりと始まりを感じて

蔵書点検のため図書室を利用することができない期間がありました。図書局員は蔵書点検で1冊ずつ本をスキャンして元の場所に戻す作業をしていました。作業をしていると軽い本や重い本、小さな本や大きな本があって、1度に移動させることのできる本の量も不規則で、想定より時間がかかりました。回転棚に並べていた文庫本の順番がバラバラになっていたのを直して、以前より見やすく手に取りやすくなっているのをぜひ足を運んでください。蔵書点検の間中は毎日腕や腰が痛くなるような労働で辛いと感じた半面、減多にできることではないので良い経験になりました。

2年生は3年生、1年生は2年生を控え、様々な思いがあると思います。そんなときに図書室へ来て心を落ち着かせるのも良いかもしれません。本から得るものだけでなく、図書室にいる先生方や先輩方にも手を貸してもらおうなど、今後に向けた取り組みの1つとして図書室を利用してもらえると嬉しいです。(高橋)



## 雪だるま



## Valentineday Kiss

皆さんは2月14日のバレンタインで、チョコレートを渡したり、貰ったりしましたか。海外では、バレンタインに男女関係なくプレゼントを贈る習慣があります。しかし、日本では女性が男性にチョコレートを渡すのが主流だと思うので、今回はチョコレートに関わる本を紹介します。『贈り物にしたい 大人のショコラ』(著・黒川愉子 出版・家の光協会)。この本は、チョコレートの作り方だけでなく、作るのに必要な道具の使い方やその作ったチョコレートに合うラッピング方法なども書かれています。お菓子作りが苦手な人やラッピングの方法が分からない人にもぴったりの本です。

バレンタインは過ぎてしまいましたが、ホワイトデーのお返しや来年のバレンタインにお菓子を手作りしてみたいかですか。(菊地)



## 鬼は外、福は内

2月3日は節分でした。節分は春を迎えるための大切な行事です。「節分」とは季節をわけるという意味で、もともとは季節の始まりとされる立春、立夏、立秋、立冬の前日のことでした。旧暦では立春が1年の始まりとされていて、その前日は特別なものとされていたため、現在では立春の前日だけを節分と呼びます。

節分といえば豆まきですが、かつては神聖な弓を鳴らして追い払うというものだったそうです。しかし室町時代ごろからは炒った大豆をまくようになりました。なぜなら、その時代には大豆に神様の力が宿るとされていたからです。神の力が宿るとされている大豆をまくことで邪気を払うことができると信じられていました。

日本の行事を楽しんで四季を感じ、心も体も健康になりましょう。(牧野)



## 図書館員のつぶやき

最近私と仲の良い人が言っていた言葉で「確かに」と思われた印象的な言葉があります。「ゲームに課金をして思い出を作ると、旅行にお金を使って思い出を作るのに違いなんてあるの？」その言葉を聞いて「確かに何の違いがあるのだろうか」と思ったのですが、皆さんはどう思いますか。(渡邊)

## 編集後記

今月号で3年生の皆さんに読んでもらえる図書館だよりは最後でしたが、いかがでしたでしょうか。もししたら3年生の皆さんは就活や様々な試験で季節のイベントどころではなかったという人もいたかもしれませんが、この図書館だよりで少しでも行事の雰囲気を楽しんでいただければ幸いです。(蛸島)

# 図書館だより

令和4年2月28日発行

第8号

清水高校図書館

## 3年生とお別れ

3月はお別れの時期、卒業の時期ですね。あっという間の1年でした。みなさんはこの1年をどのように過ごしましたか。部活や勉強に専念したり、楽しい思い出をひたすら作ったり、自分を極めたり……どんな1年であっても残りの1か月も良い思い出を作れると良いですね。3年生は高校生活最後の1年、良い思い出を作れましたか。1・2年生は3年生とどのような思い出を作ることが出来ましたか。笑い合った思い出や励ましてくれた思い出、叱られた思い出……たくさんあったと思います。3年生のみなさんの100通りの人生が幸せで充実している人生であることを願っています。

現在、図書室前の廊下や図書室入り口付近など合計3か所に図書館の3年生が作ったものを展示しています。折り紙で作った華やかな装飾、産業の授業で卒業制作として作った本棚があります。図書館の活動を熱心に行った先輩方の作品です。廊下を通るときや、図書室を利用する際にぜひ見て行ってください。(三好)



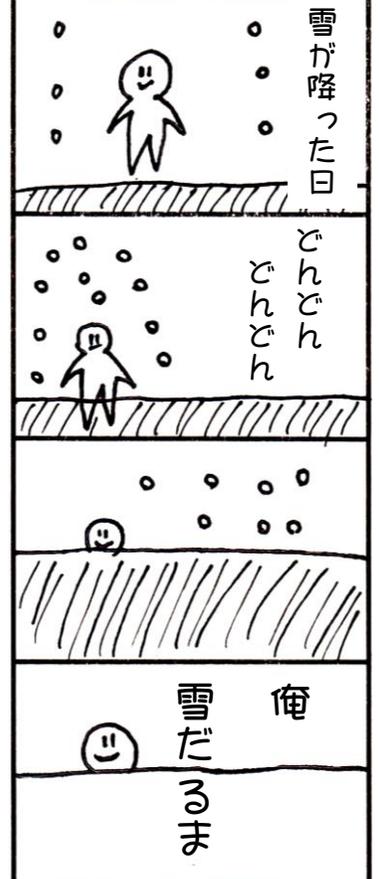
## 1年の終わりと始まりを感じて

蔵書点検のため図書室を利用することができない期間がありました。図書局員は蔵書点検で1冊ずつ本をスキャンして元の場所に戻す作業をしていました。作業をしていると軽い本や重い本、小さな本や大きな本があって、1度に移動させることのできる本の量も不規則で、想定より時間がかかりました。回転棚に並べていた文庫本の順番がバラバラになっていたのを直して、以前より見やすく手に取りやすくなっているのをぜひ足を運んでください。蔵書点検の間中は毎日腕や腰が痛くなるような労働で辛いと感じた半面、減多にできることではないので良い経験になりました。

2年生は3年生、1年生は2年生を控え、様々な思いがあると思います。そんなときに図書室へ来て心を落ち着かせるのも良いかもしれません。本から得るものだけでなく、図書室にいる先生方や先輩方にも手を貸してもらおうなど、今後に向けた取り組みの1つとして図書室を利用してもらえると嬉しいです。(高橋)



## 雪だるま



## Valentineday Kiss

皆さんは2月14日のバレンタインで、チョコレートを渡したり、貰ったりしましたか。海外では、バレンタインに男女関係なくプレゼントを贈る習慣があります。しかし、日本では女性が男性にチョコレートを渡すのが主流だと思うので、今回はチョコレートに関わる本を紹介します。『贈り物にしたい 大人のショコラ』(著・黒川愉子出版・家の光協会)。この本は、チョコレートの作り方だけでなく、作るのに必要な道具の使い方やその作ったチョコレートに合うラッピング方法なども書かれています。お菓子作りが苦手な人やラッピングの方法が分からない人にもぴったりの本です。

バレンタインは過ぎてしまいましたが、ホワイトデーのお返しや来年のバレンタインにお菓子を手作りしてみたいかですか。(菊地)



## 鬼は外、福は内

2月3日は節分でした。節分は春を迎えるための大切な行事です。「節分」とは季節をわけるという意味で、もともとは季節の始まりとされる立春、立夏、立秋、立冬の前日のことでした。旧暦では立春が1年の始まりとされていて、その前日は特別なものとされていたため、現在では立春の前日だけを節分と呼びます。

節分といえば豆まきですが、かつては神聖な弓を鳴らして追い払うというものだったそうです。しかし室町時代ごろからは炒った大豆をまくようになりました。なぜなら、その時代には大豆に神様の力が宿るとされていたからです。神の力が宿るとされている大豆をまくことで邪気を払うことができると信じられていました。

日本の行事を楽しんで四季を感じ、心も体も健康になりましょう。(牧野)



## 図書館員のつぶやき

最近私と仲の良い人が言っていた言葉で「確かにな」と思われた印象的な言葉があります。「ゲームに課金をして思い出を作ると、旅行にお金を使って思い出を作るのに違いなんてあるの？」その言葉を聞いて「確かに何の違いがあるのだろうか」と思ったのですが、皆さんはどう思いますか。(渡邊)

## 編集後記

今月号で3年生の皆さんに読んでもらえる図書館だよりは最後でしたが、いかがでしたでしょうか。もししたら3年生の皆さんは就活や様々な試験で季節のイベントどころではなかったという人もいたかもしれませんが、この図書館だよりで少しでも行事の雰囲気を楽しんでいただければ幸いです。(蛸島)